

平成28年度

鳥取県自主防災組織等知事表彰表彰式



平成28年9月10日

鳥取県

平成28年度鳥取県自主防災組織等知事表彰

表彰式

1 日時 平成28年9月10日(土)
午前10時25分～10時50分

2 場所 バード・ハット(鳥取駅前)

3 次第

- (1) 開式
- (2) 表彰状授与
- (3) 鳥取県知事挨拶
- (4) 受賞者代表挨拶
- (5) 閉式

※表彰式終了後、記念写真撮影

受賞者名簿及び功績概要

【功労表彰】

※敬称略

受賞団体・個人名 (団体：代表者職氏名)	功績の概要
鳥取市 遷喬地区自主防災会 連絡協議会 (会長 武田 恭明)	遷喬地区は、鳥取大火の翌年となる昭和28年に発足した『鳥取市防火協会』に加入し、市内で最も古くから活動している地区であるが、平成8年には、地区内の26自主防災会を束ねる協議会が結成され、『鳥取市自主防災会連合会』の一員として、積極的に活動を実施した。また、地区内全ての自主防災会の参加を得て地区防災訓練を毎年実施し、避難行動要支援者の把握、避難誘導等を行っており、地区全体で連携して活動している。更には、日本赤十字社鳥取県支部から講師を招き、AED講習、緊急時の応急手当等の救急講習を実施するなど、工夫を加えつつ地域一体で取り組む事業を展開するなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
米子市 旗ヶ崎二区自治会 防災会 (会長 長谷川 節夫)	同防災会は、平成15年に結成以来、防災訓練(避難、初期消火、救急救命訓練等)を毎年数回に渡り実施している。また、総合防災訓練も毎年実施しており、災害対策本部の運営から初期消火、傷病者搬送、避難、炊き出し等を一連の流れで実施するとともに、防災会内の要配慮者マップ及び要配慮者リストを作成し、避難行動要支援者の支援担当や避難場所を班ごとに決めている。更には、結成当初からこども会と連携し、こども達で「わかとり消防団」を発足しており、毎年夏に火の用心を訴えて町内巡回を行っているほか、会員が防災研修等に積極的に参加して技能・知識の習得に励むなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
米子市 河岡自治会防災会 (会長 養藤 繁)	同防災会は、防災会内に独自の組織(河岡消防団)を設置するとともに、消防資機材を整備し、毎月1回は機器点検を兼ねて放水訓練を実施している。また、防災訓練を年に2、3回実施しており、地震・津波災害を想定しての図上訓練(DIG)や消火栓及び消火器を使用した消火訓練のほか、リヤカー等を使用した避難訓練など様々な内容の訓練を実施している。更には、独自に有線放送施設を有し、屋外拡声スピーカーを設置するとともに、戸別受信機を全家庭に配備し、訓練で活用するなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
岩美町 陸上地区自主防災会 (会長 小山 勝之進)	同防災会は、平成26年度に陸上地区自主防災会防災計画を作成するとともに、独自に防災資機材を整備した。平成27年10月には、地震・津波を想定し、住民避難訓練、防災資機材を利用した訓練、生活用水の確保訓練等を実施した。また、コミュニティ新聞「くがみ新聞」に防災情報を定期的に掲載しているほか、防災専門誌「会報 ぼうさい陸上」を発行し、住民の防災意識の向上に努めている。更には、避難行動要支援者、世帯員名簿の整備、独自の海拔表示板の設置を推進するなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
湯梨浜町 東田後区防災会 (会長 永井 康雄)	同防災会は、各班の役割を明確にし、初動体制の確立など区民参加型訓練を行い、地域住民の防災意識の高揚に努めている。また、消火班を中心に消防施設点検等を行うとともに、消火栓ホースや格納箱等を更新し初期消火体制の維持を図っている。避難行動要支援者名簿の充実拡大に取り組んでいるほか、防災訓練(防災講習、地震・煙体験、初期消火、避難、炊き出し)を毎年3回実施している。更には、防災活動への参加者を増やすため、他行事と連携した防災イベントの企画運営に尽力するなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
倉吉市 小田自主防災組織 (代表 船越 達也)	同組織は、東日本大震災を教訓として、平成24年1月、自主防災活動を行うことを目的として設立し、今後の活動展開や住民の防災意識を把握するため、防災アンケートを全戸配布して実施した。また、毎年、防災に関する講演会を実施するほか、消防団と連携して防災訓練を行っている。更には、住民同士で意見交換を行うことにより、専門知識を有する住民を把握するとともに、危険箇所、避難行動要支援者、独居者等の情報を集約した防災マップを班別に作成した。これらの活動により、他の団体(婦人部)も防災訓練を行うようになるなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
米子市 本田 卓巳	同氏は、消防団員として、平成26年8月に市内初の「福生東少年消防クラブ」の設立に携わった。消防団員が主体となって少年消防クラブを発足・運営するのは、県内初であり、全国的にも珍しいものとなっている。また、同クラブは、同氏が企画・立案・連絡調整し、救急講習、水消火器による消火訓練等を消防署の協力を得て実施するほか、毎月1回程度、消防団員と火の用心を訴えながら防災パトロールを実施するとともに、自分達の地域を見回って独自の防災マップを作成するなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。
鳥取市 横山 ひとみ	同氏は、元教育職としての豊富な知識・経験を生かし、鳥取県防災教育コーディネーターとして、過去の災害の教訓や地理的条件等を踏まえた県独自の防災教育プログラムである「鳥取型防災教育の手引き」の作成やその効果的な活用に取り組んだ。また、鳥取県学校防災アドバイザーとして、県内の学校で実践的な防災教育を行うとともに、鳥取県自主防災活動アドバイザーとして、地域の子どもや住民を対象とした防災学習会の講師として活動している。更には、鳥取県学校の安全教育推進委員会の委員として、鳥取県教育委員会が推進する防災教育の指導的役割を果たすなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした。